

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 基盤整備された農地において、ビニールハウスによる施設園芸が盛んな地区
- 近年は農業従事者の高齢化が進んでおり、担い手不足による耕作放棄地の拡大が課題となっている

【支援内容・背景】

- 耕作放棄地の拡大に対応して、新たな耕作者を確保する必要。
- 助成対象者は、施設園芸(ピーマン)を中心とした経営体である、一方で、地域の担い手として、高齢等の理由により耕作できなくなった周辺の農地を借受け、水稻を耕作している。今後もこのような農地を集約し、地域の担い手として面積の拡大が実現できるよう、作業の効率化が可能となる農業機械の導入を支援。



助成対象者「合同会社公文」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成16年 経営改善計画の認定 (経営面積1.4ha)
- 平成21年 経営改善計画の認定 (経営面積1.7ha)
- 平成26年 経営改善計画の認定 (経営面積2.0ha)
- 令和3年 法人化(合同会社)

《事業活用の背景》

○ 今後も農地を集約し、面積を拡大していくことから、作業の効率化に向けた農業機械の導入を支援。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

○売上高 80百万円

○付加価値額 19百万円

○経営面積 2.85 ha

《事業による整備内容》

○トラクター 1台 54PS
ロータリー、ハロー、
フレールモア
事業費 8,450千円
(国費 2,304千円)



【現在の経営状況】
〈R5年度〉

○売上高 129百万円(161%)

○付加価値額 119百万円(626%)

○経営面積 3.86 ha(135%)

事業の
効果

《対象者》 作業の効率化が可能となることで、経営面積の拡大が実現し、売上高、付加価値額が増加。
《地区》 担い手への農地集積を支援することにより、耕作放棄地の発生防止につながった。